

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和8年度第1回宮古市廃棄物減量等推進審議会を次のとおり開催しました。

令和8年5月19日

宮古市廃棄物減量等推進審議会

- 1 開催日時
令和8年4月27日（月）午前10時00分～午前11時15分
- 2 開催場所
市民交流センター1階 会議室3
- 3 議題
(1) 宮古市一般廃棄物処理基本計画（案）について
(2) その他
- 4 会議の概要
会議録のとおり
- 5 問い合わせ先
市民生活部くらし安全課環境係 電話64-6488

令和8年度第1回宮古市廃棄物減量等推進審議会

1 出席者（12名）

- ① 橋本正吉 会長 ② 山根吉一 副会長 ③ 小笠原信子 委員 ④ 吉田守 委員
⑤ 中濟秀美 委員 ⑥ 佐々木匡 委員 ⑦ 星節 委員 ⑧ 鈴木結花 委員
⑨ 伊藤薫子 委員 ⑩ 畠山りか 委員 ⑪ 小川興隆 委員 ⑫ 佐々木俊一 委員

2 欠席者（3名）

- ① 齋藤浩貴 委員 ② 田川慶典 委員 ③ 寶由夫 委員

3 事務局出席者（8名）

- ① 西村泰弘 市民生活部長 ② 和美邦彦 暮らし安全課長 ③ 金澤美智子 環境係長
④ 小林真 環境係主査 ⑤ 大下優美 環境係主事 ⑥ 上野けい子 環境係きれいなまち推進員
⑦ 前川平 上下水道部施設課長 ⑧ 小向正彦 給排水普及係長

4 傍聴者

なし

5 議題等

- (1) 宮古市一般廃棄物処理基本計画（案）について
(2) その他

質疑応答内容

意見・質疑	回答
<p>【議題】 宮古市一般廃棄物処理基本計画（案）について</p> <p>（委員） 令和7年度の実績値が記載されていないが。</p> <p>（委員） ごみの処理費用はどのくらいかかっているのか。</p> <p>（委員） 令和6年度の「ごみの1人1日当たりの総排出量」が1,013g/(人・日)となっているが、全国の市町村との比較はどのようになっているか。</p> <p>（委員） 事業系ごみの減量についても何か対策が必要なのではないか。</p>	<p>（事務局） 令和7年度の実績値はまだ出ていない。</p> <p>（事務局） 宮古市一般廃棄物処理基本計画（案）（以下「計画案」という。）のP36に記載しており、「人口1人当たり年間処理経費」は15,172円/(人・年)、「最終処分減量に要する費用」は41,111円/tであり、人口規模及び産業構造が同等である「類似市町村」の平均額がそれぞれ18,019円/(人・年)及び61,182円/tであり、本市経費はどちらも安くなっている。</p> <p>（事務局） 全国の市町村ではないが、「類似市町村」との比較については、同じく計画案のP36に記載しており、「類似市町村」の「人口1人1日当たりごみ総排出量」の平均値が0.914kg/(人・日)であるので、本市は比較して高い数値となっている。</p> <p>（事務局） 委員のおっしゃるとおり、事業系ごみにおける数値に係る目標を達成できていない。事業系一般廃棄物の1日当たりの排出量が100kg以上の多量排出事業者に対しては当該年度の計画排出量と実績排出量の報告を求めているところではあるが、本計画の策定に合わせて、もう一歩踏み込んだ取り組みの必要性を感じているところである。</p> <p>（事務局） 補足説明であるが、基本計画に記載する取組内容は基本的な事項となるので、本計画案と前計画の内容が大きく変わるものではないが、数字として効果が表れていないということは、具体的な取組が不十分であったと感じている。目標値に対して結果を出している他市町村を参考として取り組みを強化していきたい。</p>

(委員)

高齢化が進んでおり、マニュアル作成やホームページ掲載等の啓発方法ではあまり意味がないのではないか。当町内会でも出前講座を申込み、来月講話いただく予定であるが、本計画案に記載されているような数値目標よりも、「家庭ごみの処理にこのぐらいのお金がかかっているのだから、皆さん、ごみの減量や分別の取組をがんばりましょう」と直接伝える方が、市民にも分かりやすいのではないか。

(委員)

岩手県では食品ロス減量化のパンフレットを配布して啓発を図っている。委員の中で食品ロス減量化に取り組んでいる方がいたら挙手願いたい。

(委員)

宴会等で残ったものを詰め替えて持ち帰ることなどはやっている。

(委員)

夏場は食中毒の恐れがあるから、主催者側としては持ち帰りはしないように伝えているところもあり、難しいところである。

(委員)

そもそも勿体ないので、食べ残すこと自体していない。

(委員)

家庭において、賞味期限は過ぎても消費期限内であれば食べられるので、そこを意識することや、賞味期限の順番にレトルト食品を並べたりしている。

(委員)

平成21年度から「ひと絞り運動」を実施しているのであれば、市民にはある程度浸透しているのではないかと思うが、さらに啓発を進めるのであれば、「ひと絞り運動」のロゴを作成してごみ収集車に塗装して周知するなどするのではないか。

また、資源回収奨励金の団体数の状況はいか

(事務局)

目標値等の数値を一つの目安として業務を進めているところであるが、ご意見いただいたような、市民に分かりやすく理解されやすい啓発の方法を考えて発信してまいりたい。

(事務局)

「ひと絞り運動」について、いただいた意見等を参考として、啓発方法の検討を進めてまいりたい。

資源回収奨励金について、令和6年度は45団体から申請があり、262tの回収量に対して、約847,000円の奨励金を交付した。

令和5年度はそれぞれ、44団体・265t・

<p>がが。</p> <p>(委員) きれいなまち推進員は2名とのことであるが、例えば分別不良でごみが回収されずに残っている頻度が高い集積場に推進員を配置して分別指導をすることが考えられるが、何万という本市の人口に対して、推進員2名というのは少ないのではないか。</p> <p>(委員) ごみの有料化について、実施の方向で検討しているということか。</p> <p>(委員) 現在の指定ごみ袋の値段も決して安くはない。売り上げは市に入ってこないのか。</p> <p>(委員) なぜ有料化にするのかじっくりと説明をして慎重に進めていかないと不法投棄が増えること、またコンビニのごみ箱に捨てる人が増えることに繋がるのではないかと懸念している。</p> <p>(委員) 以前、長野県で取り組みが進んでいて、ニュー</p>	<p>約836,000円であり、申込団体数及び奨励金はやや増となっている。</p> <p>(事務局) 現状でもフル稼働している状況ではあるが、今後も2人体制で進めていきたいと考えている。市内には約1,500箇所のごみ集積場があり、ほぼ毎日、集積場に出す時間が遅かったり分別不良のためごみが回収されずに残っているとの連絡があり、その都度現場に赴き、町内会の役員や利用者の方とごみの状況を確認している。市民の一人一人が適切に分別をして決められた日時にごみを出すことを守っていただければこのような連絡の通報はなくなるので、今後も意識啓発やルールを守ってもらうための情報発信に努めてまいりたい。</p> <p>(事務局) ごみ有料化の導入時期を具体的に検討している段階ではないが、全国的な課題である人口減少やごみ処理施設の老朽化等によりごみ処分にかかる費用の増が今後益々進む状況が見込まれ、将来的にごみの有料化について検討していく必要があるという意図で記載しているものである。 指定ごみ袋の値段に加算して、その財源をごみ処理の経費に充てることが有料化の方法の一つである。</p> <p>(事務局) 市には入ってこない。現在の指定ごみ袋の料金は指定ごみ袋を作るために必要な料金なので、ごみの有料化分の金額が上乗せされているものではない。他市町村では製造に必要な料金に加えて、ごみの有料化分を上乗せしている市町村もある。</p>
--	--

スになった記憶がある。そのような先進地を参考としたらどうか。

(委員)

県内では北上市が有料化している。

(委員)

ごみの有料化について話が出たところであるが、生活系ごみが減少しているにも関わらず事業系一般廃棄物が増加している要因は何かと、令和5年度と令和6年度の違いを考えてみたが、インバウンドで観光客が増えたことが一因ではないかと思う。もしそうなのであれば、ごみの有料化として市民の方々に負担を求めるよりも、観光サイドと協議して、観光税や宿泊税の一部をごみ処理費用に充てることの方が市民の理解を得られるのではないかと思うので、統計を基に検討するとよいのではないか。

(事務局)

参考とさせていただきたい。